

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2024No.352】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：セルゲイ・プロコフィエフ

曲名：チェロと管弦楽のための交響的協奏曲ホ短調 op. 125

演奏：アリサ・ワイラーズタイン(チェロ)/ラハフ・シャニ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55627>

2024年9月21日ベルリンフィル大ホールでの演奏です。



シャニとワイラーズタインがプロコフィエフで共演

謎めいた女性と、彼女の愛をめぐって争う二人の兄弟。メーテルリンクの戯曲『ペレアスとメリザンド』に触発されたシェーンベルクは、この三角関係の物語を感性豊かに描いた交響詩を作曲しました。プロコフィエフのチェロと管弦楽のための交響的協奏曲では、運動性と叙情性を併せ持つ音楽をお聴きいただけます。その要求の高い独奏パートはアリサ・ワイラーズタインが務めます。指揮はラハフ・シャニです。

以上の他に下記が演奏されました。

ヨハン・セバスティアン・バッハ

無伴奏チェロ組曲第4番ホ長調 BWV1010 よりサラバンド

アリサ・ワイラーズタイン(チェロ)

アルノルト・シェーンベルク 交響詩《ペレアスとメリザンド》op. 5

プロコフィエフのチェロと管弦楽のための交響的協奏曲は、シャニ指揮ベルリンフィルの歯切れのよい演奏をバックに、ワイラーズタインの深々としたチェロの音色でダイナミックな演奏です。

バッハの無伴奏チェロ組曲第4番ホ長調のサラバンドは、アンコール曲で、瞑想的な演奏です。



シェーンベルクの交響詩《ペレアスとメリザンドは、シェーンベルクらしい神秘的であったり、抒情的であったり、ドラマティックであったりと展開の変化の大きい曲です。



以上